

5 楠の里散策コース 約 6.3km

それを示す数多い古墳群の出土品を保存している味鏡神社、護国院を経て西八龍社までの散策路。



如意地名由来の大井神社。夢窓疎石（夢窓国師）が開山の瑞應寺。田園風景の残る楠味鏡は、原始時代の尾張文化の中心であった。

① 大井神社

往昔大井天神と称し、延喜式神名帳に山田郡大井神社とあり、和銅・養老年間（708～23）に勧請したとある。昔、観音堂に安置されていた如意輪観音が、如意の地名になったといわれる。



⑤ 首切地蔵（身がわり地蔵）

“文政”（1818～30）の銘がある石地蔵。郷士一ノ曾五左衛門の邪剣によって切られようとした女中の身がわりとなり、胴体を二分されたという伝説がある。



⑥ 味鏡神社

延喜式神名帳に名が残る。白山敷古墳出土の古鏡が神宝。寛治7年（1093）に競馬の神事が催されたのが始まりで、戦前は例年流馬馬が行われた。境内に稲置街道の石橋（清正橋）が保存されている。

⑦ 味鏡山 天永寺護国院

僧行基が、自ら刻んだ薬師如来座像を本尊に建立した薬師寺が前身である。薬師如来を始め古鏡、大般若経 600 巻などの寺宝が残る。



② 如意山 瑞應寺

もとは「瑞童寺」といい、夢窓疎石（夢窓国師）の創建といわれる。境内北の墓地には、南朝の雄であり後に味鏡と如意の領主となった石黒大炊助重行の墓がある。



③ 鶴楽山 岳桂院

本尊は、阿弥陀仏。室町時代末期の創建で、庄内川のはんらんによって現地に移る。無縁仏塔の頂きに六体の六地蔵があるが、楠町のみにあるもので、刻銘は元禄7年（1694）の古いもの。



④ 春日山古墳

二子山・白山とならぶ味美古墳群の一つで、5 世紀代の大規模な前方後円墳。庄内川流域を生活の場とした物部一族の時代がしのばれる。

⑧ 西八龍社

通称「かみなり神社」。古来から、雷除け・日乞いの神として有名。創建は、朱雀天皇の御代と伝えられる。

市バス 如意車庫前 → ①大井神社 → ②如意山 瑞應寺 → ③鶴楽山 岳桂院 → ④春日山古墳 → ⑤首切地蔵（身がわり地蔵） → ⑥味鏡神社 → ⑦味鏡山 天永寺護国院 → ⑧西八龍社 → 市バス 味鏡